

【外部の容器又は外部の被包に記載すべき事項】

### 注意

#### 1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- (3) 15歳未満の小児

〔アスピリン、アスピリンアルミニウム、サザピリン又はサリチル酸ナトリウムを含有する製剤に記載すること〕

#### 2. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと

〔プロモバレリル尿素又はアリルイソプロピルアセチル尿素を含有する製剤に記載すること〕

#### 3. 服用に際しては、説明文書をよく読むこと

#### 4. 直射日光の当たらない(湿気の少ない)涼しい所に(密栓して)保管すること

〔( )内は必要とする場合に記載すること〕

## アスピリン錠<sup>Ⓓ</sup>

〔注意〕 〔してはいけないこと〕(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる) 1. 次の人は服用しないこと (1)本剤又は他のアスピリン(アセチルサリチル酸)製剤によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、浮腫等)を起こしたことがある人 (2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人 (3)15才未満の小児 (4)胃・十二指腸潰瘍を起こしている人 (5)出血傾向(手足に点状出血、紫斑ができやすい等)のある人 (6)出産予定日12週以内の妊婦 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと 他解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬 3. 服用時は飲酒しないこと 4. 長期連用しないこと 〔相談すること〕 1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人 (2)妊婦又は妊娠していると思われる人 (3)高齢者 (4)本人又は家族がアレルギー体質の人 (5)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人 (6)次の診断を受けた人：心臓病、腎臓病、肝臓病 (7)次の病気にかかったことがある人：胃・十二指腸潰瘍 2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること (1)服用後、次の症状があらわれた場合 (a)皮膚：発疹・発赤、かゆみ (b)消化器：悪心・嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃痛、消化管出血 (c)精神神経系：めまい (d)その他：浮腫、貧血、耳鳴、難聴 まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること (a)ショック(アナフィラキシー)：服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる (b)皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)：高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる (c)肝機能障害：全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる (d)ぜんそく (2)5~6回服用しても症状がよくならない場合 用法及び用量に関連する注意 (1)定められた用法・用量を厳守すること (2)錠剤の取り出し方：錠剤の入っているシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、錠剤を取り出して服用すること(誤ってシートのままのみこんだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる) 保管及び取扱い上の注意 (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること (2)小児の手の届かない所に保管すること (3)他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる) (4)使用期限を過ぎた製品は使用しないこと (バイエルアスピリンによる)

バイエルアスピリン Bayer Aspirin<sup>Ⓓ</sup> バイエル薬品(株)-佐藤製薬(株)

### 区分第2類

組成(錠)(白)：1錠中 アスピリン500mg

添加セルロース、トウモロコシデンプン

〔適応〕頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・月経痛(生理痛)・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・捻挫痛・外傷痛の鎮痛、悪寒・発熱時の解熱

〔用法〕15才以上1回1錠1日3回まで。なるべく空腹時を避ける。服用間隔4時間以上。コップ1杯の水とともに服用。15才未満は服用しない

〔包装〕10錠、30錠 <sup>Ⓓ</sup>

## アセトアミノフェン<sup>Ⓓ</sup>

〔注意〕 〔してはいけないこと〕(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる) 1. 次の人は服用しないこと (1)本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人 (2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと 他解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬 3. 服用時は飲酒しないこと 4. 長期連用しないこと 〔相談すること〕 1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人 (2)妊婦又は妊娠していると思われる人 (3)高齢者 (4)本人又は家族がアレルギー体質の人 (5)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人 (6)次の診断を受けた人：心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍、フェニルケトン尿症 2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること (1)服用後、次の症状があらわれた場合 (a)皮膚：発疹・発赤、かゆみ (b)消化器：悪心・嘔吐、食欲不振 (c)精神神経系：めまい まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること (a)ショック(アナフィラキシー)：服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる (b)皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)：高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる (c)肝機能障害：全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる (d)ぜんそく (2)5~6回服用しても症状がよくならない場合 用法及び用量に関連する注意 (1)用法・用量を厳守すること (2)錠剤の取り出し方：錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること(誤ってそのままのみ込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる) 保管及び取扱い上の注意 (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること (2)小児の手の届かない所に保管すること (3)他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる) (4)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと (タイレノールFDによる)

アルピニーA坐剤 Alpieny-A Suppository<sup>Ⓓ</sup> エスエス製薬(株)

### 区分第2類

組成(坐)(白)：1個(1.2g)中 アセトアミノフェン100mg

添加ハードファット

〔適応〕小児の発熱時の一時的な解熱

〔用法〕1日1回12~6才1~2個、5~3才1個、2~1才 $\frac{1}{2}$ ~1個、なるべく排便後に肛門内に挿入。2日続けて使用しない。1才未満は使用しない

〔包装〕10個〔A1,050(税込)〕

キオファイバ<sup>Ⓓ</sup> 樋屋製薬(株)-樋屋奇応丸(株)

### 区分第2類

組成(坐)(白)：1個中 アセトアミノフェン100mg

添加ハードファット

〔適応〕小児の発熱時の一時的な解熱

〔用法〕1日1回12~6才1~2個、5~3才1個、2~1才 $\frac{1}{2}$ ~1個、肛門内に挿入。1才未満は使用しない

〔包装〕10個〔A1,050(税込)〕

こどもパブロン坐薬<sup>Ⓓ</sup> 大正製薬(株)

### 区分第2類

組成(坐)(白)：1個(1g)中 アセトアミノフェン100mg

添加ハードファット